

# 脳のもつ可能性についてやさしく学びましょう

## ～子どもから大人まで、上手に脳を活かすために～

# 令和8年3月7日(土)

開場 13:00 開演 13:30~16:00 (予定)

参加無料

申込不要

### 会場

佐野中央公民館 3階ホール(佐野市金井上町2519)

※駐車場は台数に限りがありますので、徒歩や自転車、公共交通機関の利用にご協力をお願いいたします。また、お車でお越しの際はできるだけ乗り合わせてお越しください。

### 対象

佐野市民の方、内容に興味・関心のある方（先着250人）

脳の成長とそこに秘められた可能性について学ぶ

13:30 開会

### 13:45 第1部 講演「だれもがもつ脳の成長と可能性」

【講師】 恩藏 純子 氏 (脳科学者)

【内容】 脳の成長とそこに秘められた可能性についてやさしく学ぶ



14:45 休憩

### 15:00 第2部 座談会「子どもから大人まで、上手に脳を活かすために」

【登壇者】 柳川 悅子 氏 (医師)

恩藏 純子 氏 (脳科学者)

永島 徹 氏 (ソーシャルワーカー・ナビゲーター)

【内容】 医師の立場として子どもたちの診療に関わってきた取組から伝えたいことを皮切りに、座談会テーマについて、医療×脳科学×ソーシャルワークのコラボレーションにて、ひとり一人の脳のもつ可能性を語る。



## —登壇者紹介—



恩藏 紗子氏（脳科学者）

脳科学者。専門は自意識と感情。2002年 上智大学理工学部物理学科卒業。2007年 東京工業大学大学院総合理工学研究科知能システム科学専攻後期博士課程修了（学術博士）。2015年に同居の母がアルツハイマー型認知症と診断されて以来、娘として生活の中で現れる認知症の症状に向き合ってきた。一方で、脳科学者として母親を客観的に分析することで、医者/患者、科学者/被験者という立場で研究するのとは違った認知症の理解を持つに至り、情報を発信している。著書に『脳科学者の母が、認知症になる』、『感情労働の未来 脳はなぜ他者の“見えない心”を推しはかるのか？』（河出書房新社）、共著に『なぜ、認知症の人は家に帰りたがるのか』（中央法規）などがある。



柳川小児科医院 副院長。東邦大学第一科学教室で小児神経学専攻。一般診療に加え、発達とこころの専門外来を行う。発達障害を専門とし、幼児期の健診、学校、保育園、幼稚園の巡回訪問指導を行い地域と連携した支援をめざしている。また、自閉症の息子さんを持ち、発達障害家族支援『こだわりっこ会』を主催している。



柳川 悅子氏（小児科医師）



永島 徹氏（認定社会福祉士）

2003年にNPO法人風の詩を設立。同法人理事長、認定社会福祉士、主任介護支援専門員、認知症ケア専門士などの資格を持つ。認知症ケアから児童発達支援における地域実践を取り組む傍ら、日本社会事業大学大学院 特任准教授にて人材育成にも従事している。著書に『必察！認知症ケア 思いを察すことからはじまる生活(いき)ること支援』『必察！認知症ケア2 実践編 生活(いき)すること支援に必要な5つの対人力』『だいじをギュッと！ケアマネ実践力シリーズ サービス担当者会議』（ともに中央法規出版）他多数がある。



駐車場のごあんない

※駐車場は台数に限りがありますので、徒歩や自転車、公共交通機関の利用にご協力を願いいたします。また、お車でお越しの際はできるだけ乗り合わせてお越しください。

※佐野中央公民館 駐車場が満車の場合、佐野厄除け大師の駐車場にも一部駐車が可能となっております。（ただし、No.15、No.16、No.21、No.24に限る）下記のリンクよりアクセスし、会場周辺の駐車場案内図をご覧ください。

○佐野厄除け大師（ホームページ）  
<https://sanoyakuyokedaishi.or.jp>

市のHPからご確認ください▶

